

中附連 PTA実践活動協議会 鳥取大会開催

11月8日（金）、9日（土）の2日間、中国地区国立大学附属学校連盟・同PTA連合会主催のPTA実践活動協議会が、鳥取市で開催されました。この協議会は、中国地区国立大学附属学校園関係者が一堂に会し、直面する教育課題について協議するとともに、様々な活動事例や取り組みについて共有しあい、附属学校園運営の充実に資することを目的に、中国5県持ち回りで毎年開催されています。

開催に当たっては、附属小を主幹校として、附属4校園で協議をしながら約1年前から準備を進めてきました。2日間の大会の概要を保護者の皆さんにお伝えします。



来賓挨拶する平井知事

1日目は開会式全体会のあと、「あいサポート運動」についての研修を行いました。「あいサポート運動」は2009年11月に鳥取県で創設された運動です。多様な障がいの特性、障がいのある方が困っていること、障がいのある方への必要な配慮などを理解して、日常生活においてちょっとした配慮や手助けを実践していく『あいサポーター』の活動を通じて、誰もが暮らしやすい地域共生社会を皆で一緒につくっていく運動です。

校種別分科会では、附属中教育懇話会は中学校・高等学校部会の運営を担当しました。広島大学附属福山中・高等学校と山口大学附属山口中学校の事例発表を元に、小グループに分かれて情報交換を行いました。他県の附属校の実践を知り、自校の実践を見つめ直すよい機会となりました。来年度の岡山大会では、本校が事例発表を行います。

2日目は、中江康人氏による「自己実現への原動力」と題した講演をお聴きしました。中江氏は鳥取市生まれで、高校時代からメディアや広告の世界で働いてみたいという思いを持ち上京。CMプロデューサーとして数々のテレビCMを手掛け、現在は映画などの企画・制作も行っておられます。カンヌ国際映画祭で最高賞パルムドールを受賞した「万引き家族」の制作にも関わっておられます。「自己実現」とは、夢を叶えることではなく、ありのままの自分でいつづけることであり、その原動力となることを自分自身の体験と重ね合わせながらお話しされました。講演の最後の質疑応答は40分にも及び熱気あふれる講演会となりました。

教育懇話会の役員の方には、準備そして当日の運営等大変お世話になりました。感謝申し上げます。



中学校・高等学校分科会の様子

2年生～学問体験「知の冒険」

キャリア教育の一環として、2年生を対象に、学問体験「知の冒険」を、11月7日(木)に行いました。附属中学校が大学キャンパスに隣接しており、各学部等と迅速な意思疎通が可能である利点を活かし、大学の先生方や施設等を活用した「知への探究心を培う教育」を行うために平成 22 年度から継続しています。大学の研究室等において講義を受講することで、学ぶことの意味を再認識することや大学についての理解を深め進路意識を高めることもねらいとしています。当日は、生徒が選択した午前の 15 講座、午後の 9 講座（地域学部 6、農学部 3、工学部 15）に分かれ、講義を聴いたり、実験をしたりしました。以下に、感想をいくつか紹介します。



「地域学部 生命誕生と赤ちゃんの発達」



「農学部 牛の一生について」

○波の動きを、微積分や AI を使って式に表すという内容だった。数学は意外と世の中に役立っていることを理解した。AI はまだ発展段階だから、複雑な入力内容でも出力できる AI ができたら便利だと思う。防犯にも使えそうだ。

○牛のえさやりが一番印象に残っています。牛 1 頭 1 頭にえさの量が決められていて、とても牛を大切にしているなと思いました。

○めったに見ることのない実験室を見たり、実際にお話を聞いたことで研究職についてとても実感が湧きました。

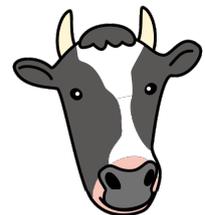
○研究は、世界で誰もやっていないことを確かめることだと分かって、難しそうだけど、成功したときは達成感があって、楽しそうだなと思いました。

○鶴崎（前校長）先生の研究に対する熱意がとても伝わりました。よく分からない言葉もあったけど、写真や実物が見られてとてもおもしろかったです。

○僕は医療関係のことが好きなので、とてもよい経験でした。大学ではこういうことも学べるのかと思うと、今から頑張ろうという気持ちになれた。

○ほとんどが実験だったが、使ったことのない器具も多くて難しかったです。それでも大学生の方に教えてもらい、成功させることができました。大学生は自分の得意なことを話すとき、楽しそうで、いいなと思いました。

○普段見ることすら不可能なプログラミングの設計を自分の手で行うことができ、プログラミングの意外な身近さを実感した。また、これまで人類がコンピュータを作り出すまでの苦悩を知ることができた。僕らの生活の大部分は、これまでの研究者の努力で成り立っていると感じた。



10 月学校だより②の訂正

- ・10月号②で掲載した文化祭スローガンの漢字に誤りがありました。正しくは、響鳴です。
- ・後期生徒会活動方針④マナーアップ運動として記載していた「JR の利用について」は、今後の検討課題にしています。